

広報 向日市

◎発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)
◎編集 広報広聴課
◎電話 075(931)1111

まちのうごき		
(9月1日現在)	(8月中)	
世帯数 14,142世帯	生れた人 83人	
人口 47,585人	亡くなった人 30人	
男 23,688人	転入した人 508人	
女 23,897人	転出した人 291人	

十月一日から三十一日までは都市緑化月間です。

近年の急激な都市化の波は、著しく「緑」を破壊しており、都市環境の保全を維持するためには、都市における「緑の造成と保存」が重要な課題となっています。私たちはこの期間中、失なわれていく「緑」がいかに大切なものであるかを改めて考え、緑を大切に保護し育成しましょう。

緑あふれるまちに

市民みんなの手で

「太陽とみどり」と「ふるさと向日市」の美しい自然と文化遺産を守り、人間優先の方針を育て、みどり豊かなまちづくりは、向日市が目ざす姿です。

しかし、市の現状は、八平方キロメートルの面積に四万七千人もの人々が生活している過密都市で、京都府下でも最高の過密度となっています。

そして、いまだに市内のあちこちで宅地造成が行われ、新しい家が次々に建てられており、市内の緑地は徐々に少なくなってきました。

こうした過密都市で生活している私たちにとって、心をいやし、やすらぎを与えてくれる「みどり」が失

われていくのは、非常に残念なことです。

市の緑地面積

全体の19パーセント

市の緑地といえる面積は約百五十三ヘクタールで、市面積の約一九・二パーセントにすぎません。

(昭和五十年十二月現在、水田、畑を除く)

そして、それは毎年、減少する傾向にあり、過密都市の宿命的な姿をあらわしています。

▲注▼ 大都市や市街地

区域および周辺地域の確保すべき緑地の量は、全面積のおおむね三〇％くらいとされている。

市では、こうした最近の急激な都市化に伴う都市環境の悪化に対処するため、都市公園の緑化と児童公園・都市公園などの保全、美化に努め、緑を守るとともに、緑をよりふやす施策に力を入れています。

公園の種類

- ◇公共緑地：公園、広場、運動場、墓園など
- ◇自然緑地：河川、湖沼、湖畔、山林、原野など
- ◇生産緑地：水田、畑、林業地、牧草地など
- ◇その他、特殊緑地など

小さな日中友好

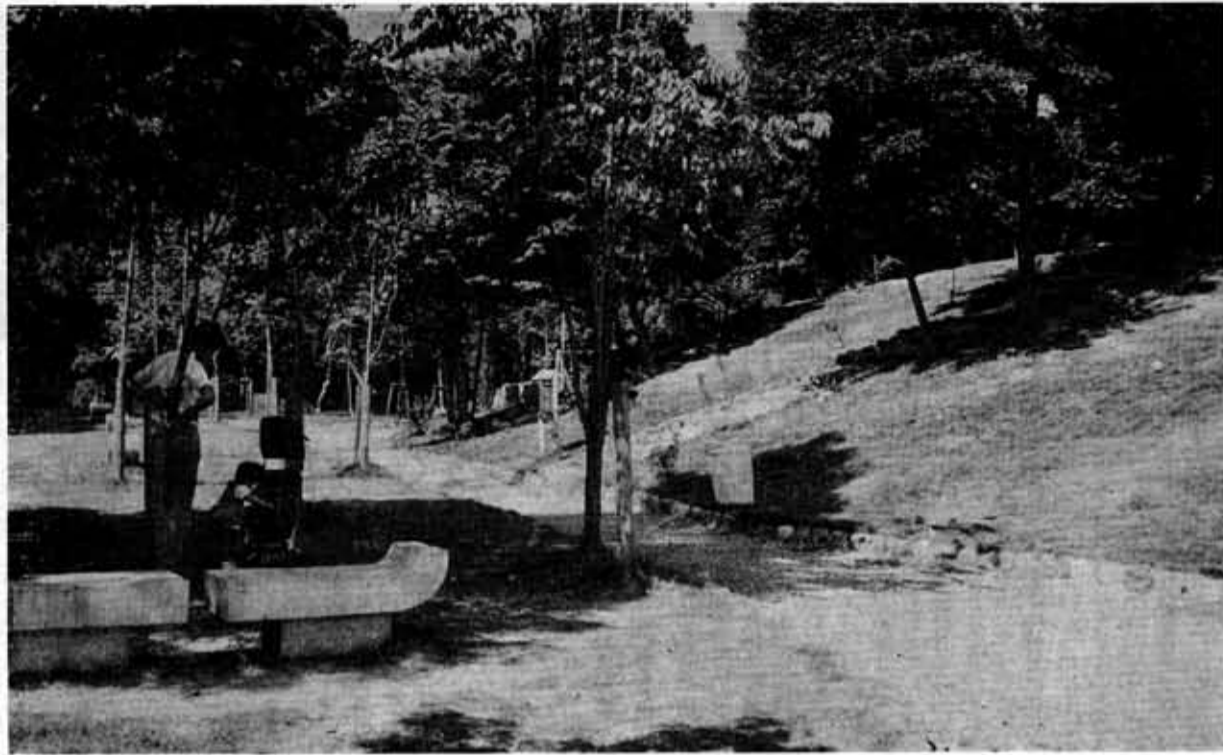
中国政府海運代表団一行が、公式スケジュールの合間の九月二日に、専業農家の模様を見学したいという申し入れがあり、日中友好に少しでも役立てばと思いい、喜んでお引き受けしました。

わたしは、中国関係者に直接に会うのは初めての経験であり、当日はたいへん緊張して出迎えましたが、初対面であるにもかかわらず、和やかに旧知の間の親しいような親しさで、森本町の懸が川(清水政教氏)、物集女町のトマトのハウス栽培(安田重雄氏)、水稲、なす(山田勇氏)などの農作物を案内しました。

中国は、農業を国民経済の基礎とし、工業を導き手とする方針でありますので海運関係者であるが、農業について詳しく、専門的な質問があり、一年のうち二、三か月は農業に従事するということが、また、文化大革命の上で生まれた知識青年の農山村への下郷の話などを体験者からじかに聞きました。

特に、見学の希望として農家の日常の食事を食べたというところで、山田勇氏宅で昼食をお世話になり、すき焼きを食べながら、材料の収穫、料理方法などを聞き、給仕の婦人にも一語に食べようといわれ、お国ぶりを発露しましたのは、男女は真に平等である「婦人は天の半分を支える」という有名な言葉とおりでありました。

数時間の交流でしたが、終始和気あいあいのうちに、中国国民の心づくりにわたる友好にささやかながら寄与できたと喜んでおります。



▶市民の憩いの場として利用される勝山都市公園

公園・憩いの場

市内に四十五か所

私たちの身近で「みどり」と「憩いの場」を手えてくれるもの一つに、公園があります。

公園は、現在、都市生活を営む私たちに、不可欠なものとして、不可欠なものとして、特に、京都府下最大の過密地域である向日市は、農地などのいわゆる生産緑地は、少しづつ住宅地にかわり、持家は、緑と安らぎを求めるところは公園以外にはなさそうなきさえします

▲注▼ 園の基準では、一人当り三平方メートルの公園が必要とされています

現在、向日市の場合、市民一人当り〇・六一平方メートル。

市内には現在、四十一か所(約一万六千六百平方メートル)の児童公園があります。

また、「古墳のある都市公園」をキャッチフレーズに、勝山都市公園(向日町北山)が、昭和四十八年、市初の都市公園としてオープンしたのを皮切りに、昭和五十年には、北ノ口都市公園(物集女町北ノ口)、大牧都市公園(寺戸町大牧)が、そして今年、車塚緑地(物集女町南条)が相次いで完成し、市民の方に親しまれています。

また、今年七月には、学校開放の一環として、第二向日小学校に、学校公園も誕生しました。

このように市では、毎年

公園の整備・拡張に取組んでいますが、まだまだ私たちが生活する環境づくりに取組んでいきましたが、市民のみならず、緑を守るとともに、緑をふやすことを心がけ、緑あふれる豊かなまちづくりに参加しましょう。

公園は みんなのもの

公園は、みんなのもので、す。ブランコ、スベリ台、その他いろいろな遊具を大切にしましょう。

公園に植えられた木も、公園にとって大事な一部です。大事に育て、公園を市民みんなの憩いの場として大切にしましょう。

市民体育大会に多数ご参加を

ごあいさつ

大会会長 民秋徳夫

さわやかな秋の好期を迎え、ここに第5回市民体育大会を学行出来たことは誠に喜ばしく、皆様とともにご祝賀いたします。

さて、昨年は天候に恵まれず、残念ながら中止のやむなきにいたりましたが、年に一度のこの大会は、スポーツを通じて、皆様のご健康と相互の親睦を図り、進んで明るいまちづくりの一助になることと確信しております。

皆様におかれましては、公私何かとご多用のことと存じますが、お繰り合わせの上、多数ご参加下さいますようお願いいたします。

第5回市民体育大会を開催します。スポーツの秋にふさわしいこの大会に、多数ご参加下さい。

◎日時・場所◎
10月3日(日) 午前9時……競輪場
3日が雨天の場合は、10日(日)に順延。
会場は、競輪場です。

◎競技種目◎
男女ざる引き競走、女子数字合わせ競走、男子障害物競走、親子係三代リレー、混合綱引き、アベック樽ころがし、男子ピンつり競走、混合紅白球入れ、女子400mリレー、男子800mリレー、男子800m競走、混合500mリレー、その他。

